

理学部学生の皆さんへ

大学生活の大きな特徴の一つに「自由」があります。或る辞典の「自由」の項には、①自分の思うままに振る舞うこと、②他からの束縛や強制を受けないこと、③他からの強制ではなく、自分の責任で行うことの三つの意味が記されています。大学生になると一人暮らしをする人も多いと思います。家族の干渉を受けない生活が始まり、これは①と②の自由を意味します。自宅から通学する場合でも家族から、もしくは自分から「もう大学生なのだから」と自由を意識した会話があると思います。しかし、自由の三つの意味はそれぞれが関連し、あるいは対立した意味を持ちます。仮に一人暮らしの気軽さから、毎日夜遊びをして昼過ぎに起きる生活を続けたとしましょう。そのような人は確かに①の自由を満喫している訳です。しかし、自分のだらしない性質、あるいは習慣に負けていると考えれば、このような生活は③や②の意味では自由ではないことになります。出席しないと単位が貰えないから勉強はしたくないけれども講義に出席するという人も、他からの束縛を受けていると考えられる訳で、③や②の意味の自由はないでしょう。③の自由は「～への自由」と呼ばれるものです。大学では、一生懸命勉強することを束縛するものは何も無いし、充実した学生生活を送ることを妨げるものもありません。

皆さんの手元にあるこの「履修要覧」と「シラバス（講義要項）」は大学での4年間の勉強の最も基礎になるものです。「履修要覧」には、「学則」、「諸規定」、「履修の手引き」、各学科とプログラムの履修案内と教育課程表が記載され、教育の内容が規則として、あるいは具体的に示されています。示されている卒業に関わる単位数を修得して卒業できる訳ですが、教育課程表にある多数の科目から何を履修するかは、必修科目を除いては全て皆さんに任されています。単に単位が取りやすいからという理由だけで履修する科目を選ぶとしたら先程の③や②の意味の自由はありません。努力したくないという怠惰な気持ちに束縛されているからです。講義の概要は「シラバス（講義要項）」で見ることが出来ます。入学後の初仕事は「履修要覧」と「シラバス」をじっくりと読むことです。是非、卒業後社会でどのような役割を担うかを考え、具体的な目標を持って勉学に取り組み、自由に豊かな大学生活を送ってください。

理学部長 日野晶也